

番号	7 - 7	申請者	RI検査主任 米丸 雄太
【審査申請課題】 DaTScanにおける中脳SERT定量法の検討			
【審査課題の概要】 DaTScan検査は、脳内のドパミン神経の変性や脱落を画像化することで、パーキンソン病やパーキンソン症候群の鑑別に有用な検査である。また、ドパミントランスポーター（DAT）だけではなく、セロトニントランスポーター（SERT）に親和性があり、線条体外集積として視床下部や中脳、橋にも集積を示す。特に中脳集積は、パーキンソン病およびパーキンソン症候群の鑑別診断に有効であることが報告されている。本研究では、脳血流解析ソフトである3D-SSPを用いて、解剖学的標準化を行った後、NEURO FLEXERの自動ROI設定を用いて、中脳と後頭葉の比からSERTを定量し、その有用性を検討する。			
審査結果	承認 （ 令和7年5月19日 ）		